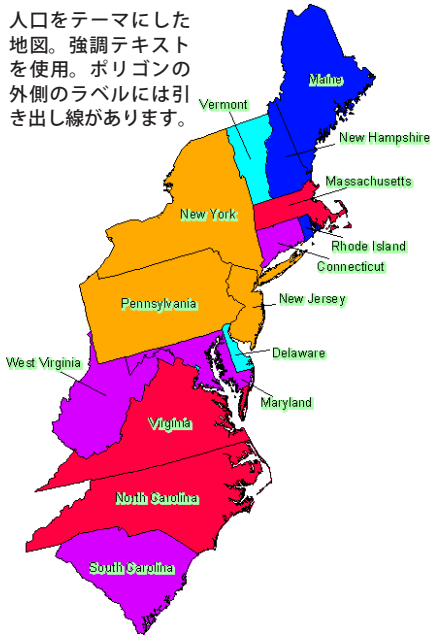


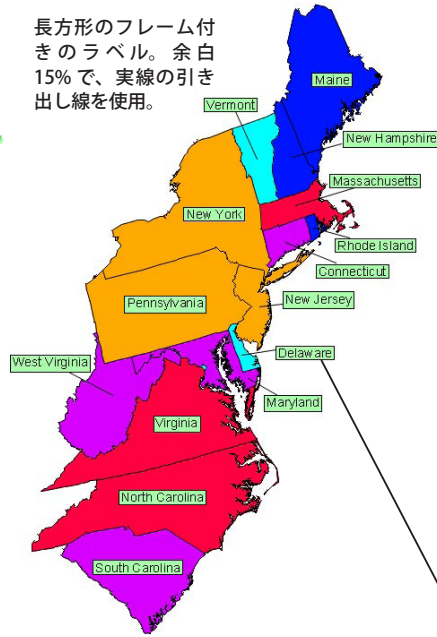
ラベルフレームと引き出し線

引き出し線が付いている簡単なラベルに加え、様々なスタイルでラベルにフレームを追加し、フレームを使う際にシンプルなラインか三角形の引き出し線のどちらかを選択することが出来ます。ラベルの位置については多くのオプションが利用できます: [常に内側 (Always Inside)], [内側に入れば表示、入らなければ表示しない (Fit Inside or None)], [内側に入れば表示、入らなければ引き出し線で外側に表示 (Fit Inside or Outside with Leader)], [内側に入れば表示、入らなければ外側に表示 (Outside without Leader)] です。引き出し線の設定をするには引き出し線を含むラベル位置を選択する必要があります。ラベルのテキストとフレームの間の余白は、ラベルの各4辺についてそれぞれ別々に設定することができます。指定した余白がディセンダ (p, q, j, y などの基線より下にある部分) を収容できる大きさの場合、全てのフレームは同じ高さになります。

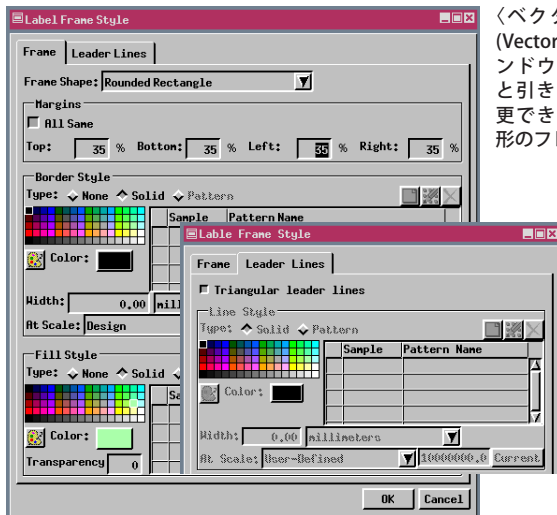
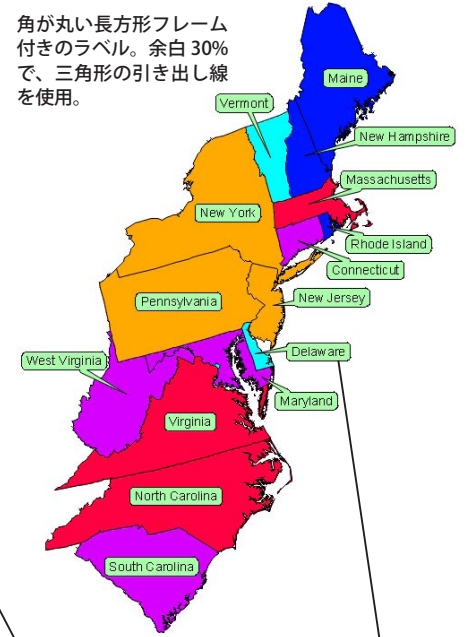
人口をテーマにした地図。強調テキストを使用。ポリゴンの外側のラベルには引き出し線があります。



長方形のフレーム付きのラベル。余白15%で、実線の引き出し線を使用。

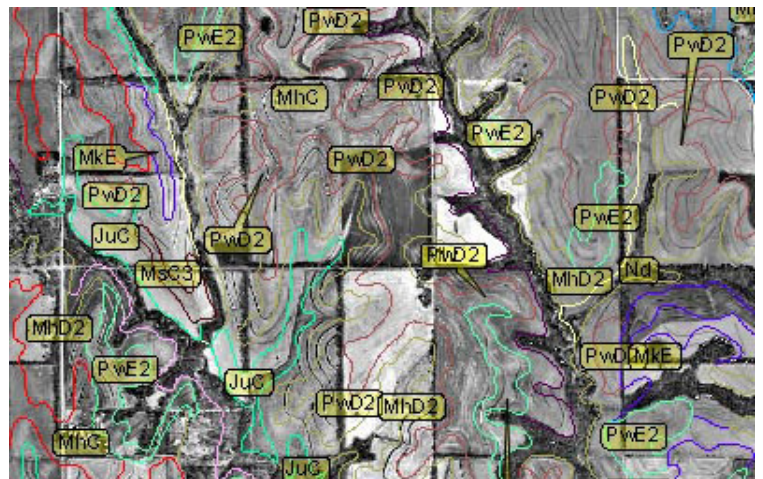


角が丸い長方形フレーム付きのラベル。余白30%で、三角形の引き出し線を使用。



〈ベクタレイヤコントロール (Vector Layer Controls)〉ウィンドウから、ラベルフレームと引き出し線のスタイルを変更できます。他にも楕円と円形のフレームが利用できます。

フレームの塗りつぶしスタイルのオプションとして透明度が使えます。半透明のフレームは画像上で便利です。



「ラベル要素」のフレームスタイルは、〈ベクタレイヤコントロール〉ウィンドウの「ラベル」タブパネルからアクセスできます。「ダイナミックラベル」のフレームスタイルは、〈ベクタレイヤコントロール〉ウィンドウの対応する要素パネルからアクセスできます。フレームスタイルは、空間データエディタの「ラベルの自動生成 (Auto Generate Label)」ツールでは設定されません。フレームの選択は個人的な好みです。円形のフレームは、1つか2つの文字または数字を含むラベルに最適です。